

ボックスカルバート

擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他

製品写真



特長・ポイント

工事手間が少なく工期短縮ができます。

経済的に安価で、工場製品のため、安定した品質が得られます。

RC BOXカルバートとPC BOXカルバートの2種に大別されます。

セグメントボックスカルバート（3500～4500×2000～5500 × 1000・1500）もございます。

施工写真



製品寸法図

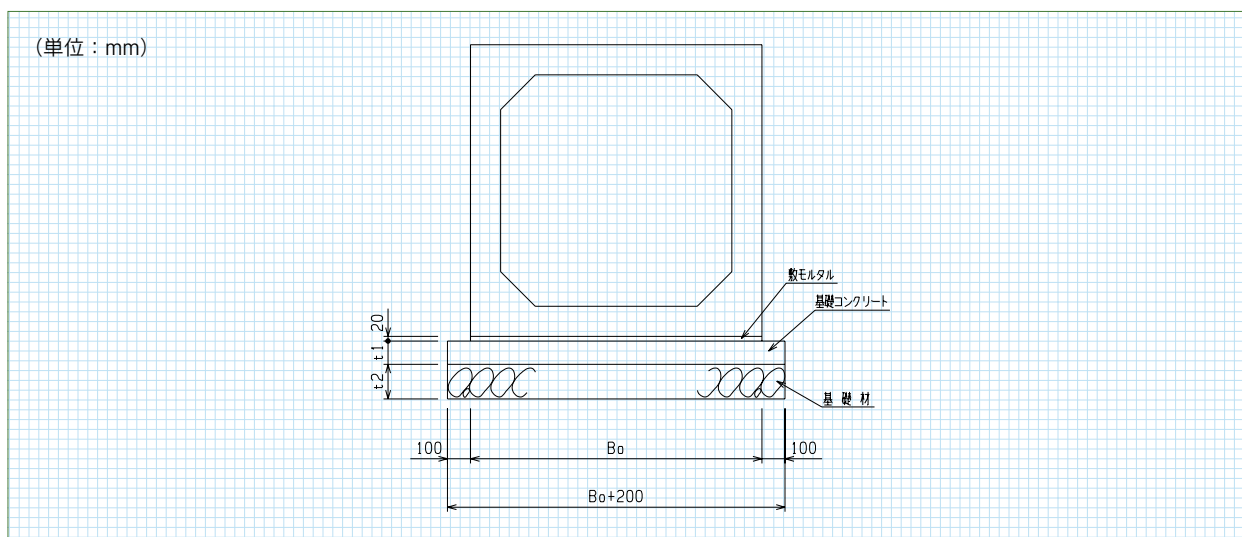
RC ボックスカルバート

種 類	呼び寸法 B×H(mm)	適用土かぶり(m)
RC-1種	600×600～3500×2500	0.2～3.0
RC-2種	900×600～3500×2500	

RCボックスカルバートは外圧強さにより、1種製品と2種製品が区別されております。

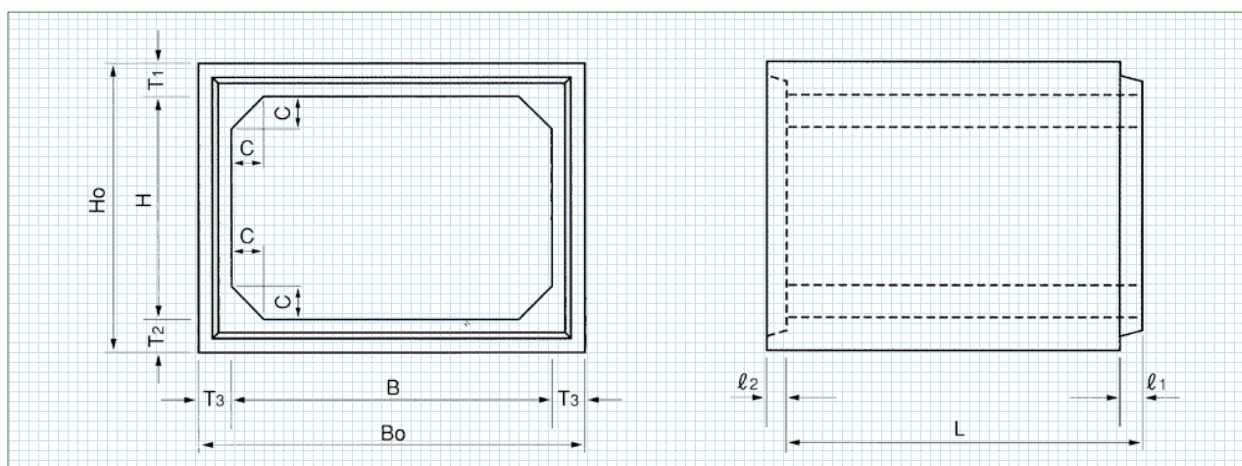
- 1) 1種、2種とも形状寸法、許容応力度法による設計における適用土かぶりの範囲等は同じですが、1種は主として道路、一般水路に使用します。また、2種については主としてコンクリート用膨張混和材を使用し、ひび割れ強度を大きくした製品であり、腐食性環境の下水路等に使用します。

基礎形状



呼び寸法	t1 (mm)	t2 (mm)
600 × 600 ～ 1000 × 1500	100	150
1100 × 1100 ～ 2000 × 2000	150	200
2200 × 1800 ～ 5000 × 2500	200	250

(a) 通常敷設型



製品寸法表

RC-1種・2種 ボックスカルバートの寸法(T-25)

(単位:mm)

呼び寸法 B×H	外幅 Bo	外高 Ho	有効長 L	厚さ			ハンチ 高さ C	差し口 長さ φ1	受け口 長さ φ2	ブロック 参考重量 (kg/本)	
				T1	T2	T3				標準形	
600× 600	860	860	2000	130	130	130	100	60	40	2,000	
700× 700	960	960								2,260	
800× 800	1060	1060								2,520	
900× 600	1160	860								2,390	
900× 900		1160								2,780	
1000× 800	1260	1060								2,900	
1000×1000		1260					3,160				
1000×1500		1760					3,810				
1100×1100	1360	1360					3,420				
1200× 800	1460	1060					3,160				
1200×1000		1260					3,420				
1200×1200		1460					3,680				
1200×1500		1760					4,070				
1300×1300	1560	1580					140		140	4,100	
1400×1400	1660	1700					150		150	4,540	
1500×1000	1780	1320					160		160	140	4,470
1500×1200		1520									4,750
1500×1500		1820									5,170
1800×1200	2100	1540	170	170	150	80	80	5,600			
1800×1500		1840						6,050			
1800×1800		2140						6,500			
2000×1500	2320	1860	180	180	160			6,980			
2000×1800		2160						7,460			
2000×2000		2360						7,780			
2200×1800	2560	2200	200	200	180			6,570			
2200×2200		2600						7,110			
2300×1500		1900						6,320			
2300×1800	2660	2200						6,720			
2300×2000		2400						6,990			
2300×2300		2700						7,400			
2400×2000	2780	2420	210	210	190			7,530			
2400×2400		2820						8,100			
2500×1500		2900						1940	220	220	200
2500×1800	2240		7,790								
2500×2000	2440		8,090								
2500×2500	2940		8,840								
2800×1500	3240	1980	240	240	220	5,740					
2800×2000		2480				6,290					
2800×2500		2980				6,840					
2800×2800		3280				7,170					
3000×1500	3480	2020	260	260	240	6,770					
3000×2000		2520				7,370					
3000×2500		3020				7,970					
3000×3000		3520				8,570					
3500×2000	4000	2620	310	310	250	9,150					
3500×2500		3120				9,780					

(注)有効長は、1500mmまたは1000mmとすることができます。

※規格外の製品については、別途お問い合わせください。
※B=3500 以上のサイズについては、別途御相談ください。

擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他

施工写真



擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

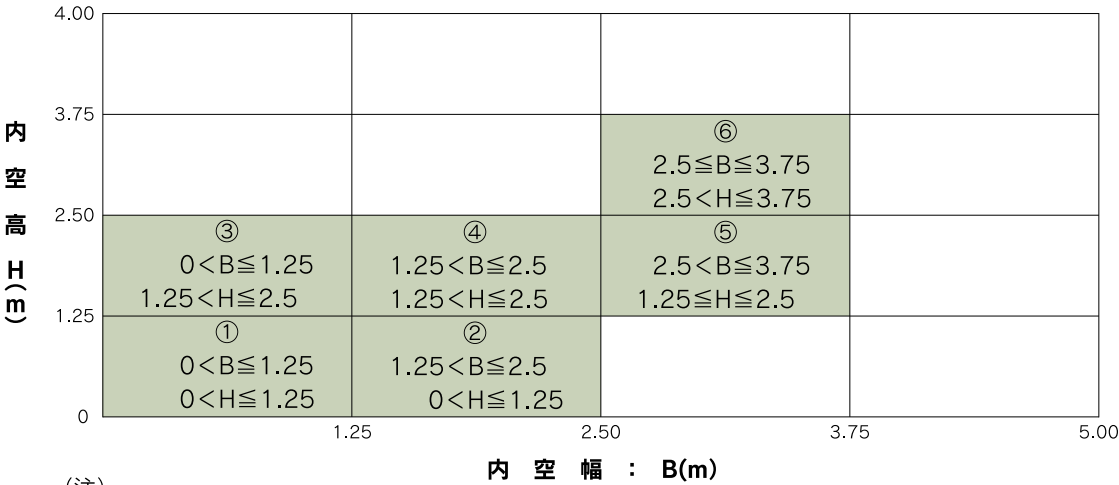
地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他

断面寸法別歩掛区分



- (注)
- 1.本歩掛で対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートである。
 - 2.本歩掛は、グラウトを使用しないPCアンボンドケーブル等による施工には適用しない。
 - 3.本歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋め戻し、残土処理は含まない。
 - 4.ラフテレーンクレーンは賃料とする。
 - 5.基礎砕石、均しコンクリート、諸雑費は労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
尚、基礎砕石、均しコンクリート、諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。
『基礎砕石』 敷設・転圧労務、材料投入、締固め機械運搬経費、砕石等材料費
『均しコンクリート』打設・養生・型枠製作・設置・撤去労務・電力に関する経費、シュート・ホツパ・パイプレーター損料、コンクリート、養生、均し川枠材料費
『諸雑費』レバブロック、敷きモルタル・目地モルタル、グラウト材等の材料費
 - 6.基礎砕石の敷き均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途計上する。
 - 7.雑工種(基礎砕石、均しコンクリート)における材料は、種別・規格に関わらず適用できる。
 - 8.本歩掛には、均しコンクリート型枠施工時の剥離材塗布及びケレン作業を含む。

据付歩掛

製品長			2.0m／個				1.5m／個			
名 称	単 位		①	②	③	④	②	④	⑤	⑥
世話役	人		0.6	0.9		1.1	1.2	1.6	2.5	3.7
特殊作業員	〃		0.4	0.5		0.7	0.8	1.0	1.6	2.3
普通作業員	〃		1.3	1.8		2.4	2.5	3.0	5.2	7.7
ラフテレーンクレーン賃料		日	0.3	0.4		0.6	0.5	0.6	0.9	1.3
雑種工率	基礎砕石	%	28	37	27	29	27	22	23	14
	均しコンクリート	〃	52	88	56	69	64	53	60	38
諸雑費率		〃	11				7			

PC鋼材による縦連結の場合

製品長			2.0m／個				1.5m／個			
名 称	単 位		①	②	③	④	②	④	⑤	⑥
世話役	人		0.8	1.3		1.9	2.3	2.7	3.9	5.4
特殊作業員	〃		0.5	0.8		1.2	1.4	1.7	2.5	3.4
普通作業員	〃		1.7	2.8		3.9	4.7	5.7	8.1	11.2
ラフテレーンクレーン賃料		日	0.3	0.4		0.6	0.5	0.6	0.9	1.3
雑種工率	基礎砕石	%	23	27	19	19	16	14	16	11
	均しコンクリート	〃	43	63	40	47	38	34	41	28
諸雑費率		〃	13				6			

※ 上記歩掛は国土交通省土木工事積算基準・平成23年度版を引用しています。